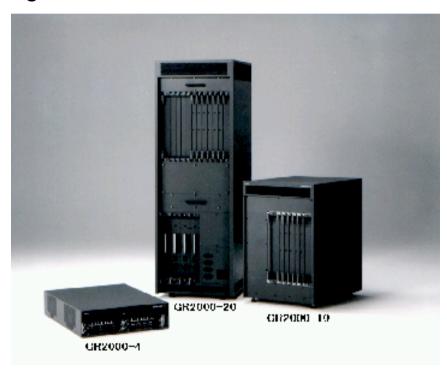
IPv6対応GR2000

角川 宗近 (株)日立製作所 / KAMEプロジェクト sumikawa@sumikawa.jp

GR2000

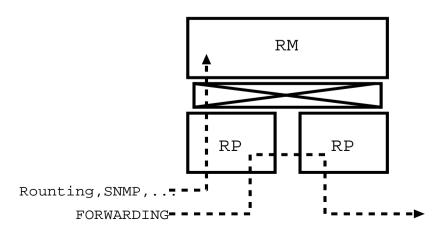
■IPv4ルータ

http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/network/gr2000.htm



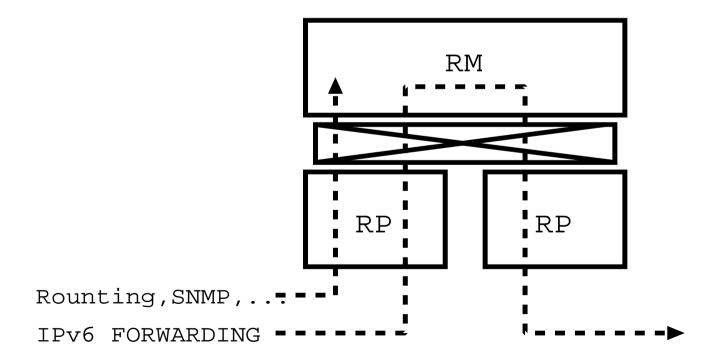
分散アーキテクチャ構造

- RM(Routing Manager)
 - BSD/OS on AMD K6-2
 - ■アプリの移植が容易
 - ●自宛のパケットを処理
 - ●経路制御デーモン, SNMP, httpd等が動作
- RP(Routing Processor)
 - ハードウェアによるパケット転送処理
 - ■カスタムLSI(含 経路探索)
 - ●フィルタリング、QoS制御
- ■RMとRPはクロスバー・スイッチで接続



GR2000のIPv6対応化

- ■KAMEをGR2000のRMに移植
 - 1999年9月stableがベース
 - 現在はIPv6パケットはすべてソフトウェア処理
 - ■経路探索、パケット転送
 - ■経路制御デーモン等



現在の実装状況

- ■対応バージョン
 - 1999年9月stable
- ■インターフェイス
 - 10/100 イーサネット
 - ギガビット・イーサネット
 - ATM(OC-3)
 - POS(OC-3、OC-12)
 - トンネル(gif)
- ■アプリ
 - route、ifconfig、sysctl6、ndp、gifconfig、prefix
 - telnet6、ftp6、telnet6d、ftp6d、inet6d
 - ping6、traceroute6、tcpdump、snmpd、rtadvd
 - gated、gdc、pim6sd
- ■ユーザ・インターフェイスはKAME(BSD)とほぼ同じ

今後の予定

- ■ベータ配布(2000年4月予定)
 - GR2000ユーザのうち希望者へ配布
- ■KAMEの定期的なキャッチアップ
- ■IPv4/IPv6のユーザ・インターフェイスの統一
- ■ハードウェア実装による高速転送